令和８年度由利本荘市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市は、秋田県の令和７年産の水田における作付状況（確定値）において、主食用米の作付面積が５，４６２ｈａ（２５市町村中の４位）と主産地である一方、日本国内の主食用米需要量は人口減少等の影響により減少傾向にある。

秋田県における令和７年産米の作況単収指数は、８月及び９月に大雨があったものの、総じて天候に恵まれたため、「１０３」となった。

しかしながら、今後も主食用米の需要量が増加し続ける可能性は低く、需要量以上に生産し続けることは、価格下落へつながるため、需要に応じた生産を継続することが重要である。

本来であれば、人口減少に伴う主食用米の需要減少に対応するため、水田を畑地化し畑作物の規模拡大を図ることが理想であるが、本市は畑作物に不向きな湿田が多く対応が難しいため、主食用米の作付の技術や機械が共通している水田活用米穀の加工用米、飼料用米等へ調整することにより対応してきた。

令和７年産の加工用米については、需要に応じた生産に取り組むことができたものの、近年の全国的な需給動向が見通せない中、更なる増加は難しい。そのため、備蓄用米や飼料用米等の生産を継続しながら、主食用米の需給調整に取り組む必要がある。

土地利用型作物においては、不作付地の解消に活用できる有望な作物として、大豆やそばの生産振興を図ってきた。大豆については、近年は気象条件に恵まれず、不作が続いたことで生産意欲の減退に繋がり、作付面積は減少傾向にある。そばについては、農作業受託組織が整ってきたこともあり、今後も生産拡大が見込まれる。

飼料作物については、耕種農家と畜産農家の連携による作業受委託により、安定的な生産が行われてきたが、令和４年産からの交付金の見直し（は種なし牧草の交付単価引き下げ）の影響により作付農家の意欲が減少し、作付面積は減少傾向にある。

重点・準重点振興作物については、規模拡大を目指し、県・市の事業により生産に係る資材・施設等への支援も行っているが、作付面積は減少している。

振興作物・その他振興作物の野菜・花きについては、多種多様な消費者ニーズに対応するために、生産量が少ないものも含めて供給体制を整えて実需に対応する。

また、水田活用の直接支払交付金に関して、令和４年度以降、５年間で一度も水稲作付または水張りが行われない農地は交付対象農地とならないとしてきた方針が変わり、連作障害を回避する取組がなされれば、引き続き交付対象農地として維持される見込みとなった。

いずれにしても、主食用米の消費減少に対応するために、本市においても主食用米から他作物への転換を加速する必要がある。このため、水田をフルに活用し、土地利用型作物の生産性向上や収益性の高い作物の生産などにより収益性を高め、農業経営の安定に結びつけることが最も重要な課題となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

人口減少に伴う主食用米の需要減少に対応するためには、主食用米から高収益作物へ作物転換が必要である。その対応として、重点・準重点振興作物の規模拡大や作物転換を誘導する。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効活用として、主食用米から水田活用米穀や、そば等への作物転換を進めていく。そのために現在の産地交付金の取組助成の維持が必要である。

長年の生産調整により野菜等の栽培が定着し、おおむね団地化された畑地が形成された水田において、農業者等より要望があった場合は、引き続き畑地化へ取り組み、農地の有効利用を図る。なお、令和３～６年度にかけて、由利地区と西目地区で合計２５．３８ｈａの畑地化取組がなされている。

また、ブロックローテーションについては、現在、西目地区で実施しているが、当地区は水稲作付をするための農業用水が不足する都合上、地域の合意形成ができて実施が可能になっており、他地区にこの取組を広げるのは難しい。

４　作物ごとの取組方針等

本市の約９，３００haの水田について、適地適作を基本に、産地交付金を有効に活用しながら作物生産の維持・拡大を図る。

（１）主食用米

米の食味ランキング特Ａの継続した獲得に向け、土づくりを基本とした、安全・安心な、高品質・良食味米の生産を継続する。また、需要動向を見極めつつ、消費者ニーズに対応した、売れる米づくりを推進し、米の主産地としての地位を確保する。

（２）備蓄米

政府の買入入札で落札した数量に応じた取組であり、需要に応じた生産を行う。

※備蓄米については、令和８年産米の備蓄米に関する政府買入の動向を踏まえ、主食用米及び非主食用米等へ変更する場合がある。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

実需者を確保する取組を進めながら、飼料用米の複数年契約の推進、栽培マニュアルに基づく施肥管理の実施により収量の向上を目指す。また、１ｈａ以上の団地化による効率化等の取組を図る。さらに、主食用品種だけでなく、多収品種の作付による収入の増加を図る。

また、作付ほ場の稲わら利用、ほ場への堆肥施用を行うことにより、耕種農家と畜産農家の連携強化、資源の有効活用を図る。

イ　米粉用米

令和７年度時点では該当なしだが、主食用米の消費減少に対応するために今後は米の有効活用の一つとして米粉用米に取り組む。

ウ　新市場開拓用米

既に、一部の農業者が日本企業の海外店舗へ輸出用米を供給しており、他の農業者にも同様の動きがある。また、集荷業者でも輸出用米への取組を始めており、主食用米の国内需要の縮小に対応して、複数年契約の推進や、販路の多チャンネル化を目指す。

エ　WCS 用稲

飼料トウモロコシの高騰などから需要が増加しており、地域の畜産農家との連携に

より、品質向上を目指す。また、ほ場への堆肥の施用を行うことにより、耕種農家と畜産農家の連携強化、資源の有効活用を図る。

オ　加工用米

需要者間の結びつきをもとに生産体制を強化し生産拡大を図る。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦については、該当なし。

大豆については、転作の重点作物として位置づけ、団地化を推進するため産地交付金等を有効に活用するとともに、排水対策や除草対策を徹底することで収量と品質の向上を図る。また、単収不安定の要因である湿害を回避する耕耘・播種技術である大豆３００Ａ技術等の導入も推進する。

飼料作物については、耕種農家と畜産農家の連携による安定生産を図って行く。また、ほ場への堆肥の施用を行うことにより、資源の有効活用を図る。

（５）そば、なたね

そば、なたねについては、水田フル活用の観点から、不作付地を有効に活用できる作物として位置づけ、産地交付金を活用し団地化推進、湿害対策を徹底することにより品質、生産性の向上を図るとともに地域の実需者との契約を基本として、作付拡大を目指す。

（６）地力増進作物

地力増進作物については、該当なし。

（７）高収益作物

野菜・花き等については、複合経営の柱となる作物として位置付ける。その中で産地化やブランド化が図られつつある作物としてアスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊、シャインマスカットを市の重点振興作物に、サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリを準重点振興作物に選定し、産地交付金をはじめ、国・県の支援策を活用し、収益性の高い水田営農の定着を図るとともに、団地化による生産性向上でコスト低減を目指す。そして、市場の評価を高めることで主産地化を図り、スケールメリットを生かした有利販売に繋げていく。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	5469.59	0.00	5096.36	0.00	5096.36	0.00
備蓄米	0.00	0.00	402.36	0.00	402.36	0.00
飼料用米	74.26	0.00	207.00	0.00	207.00	0.00
米粉用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新市場開拓用米	2.44	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
WCS用稲	117.57	0.00	150.00	0.00	150.00	0.00
加工用米	331.12	0.00	400.00	0.00	400.00	0.00
麦	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
大豆	149.39	0.00	181.00	0.00	181.00	0.00
飼料作物	251.00	0.00	293.00	0.00	293.00	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そば	579.28	0.00	520.00	0.00	520.00	0.00
なたね	0.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
地力増進作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
高収益作物	163.67	0.00	186.35	0.00	186.35	0.00
・野菜	130.05	0.00	141.26	0.00	141.26	0.00
アスパラガス	38.61	0.00	47.36	0.00	47.36	0.00
ミニトマト	3.54	0.00	4.27	0.00	4.27	0.00
キャベツ	17.19	0.00	11.85	0.00	11.85	0.00
さやいんげん	2.02	0.00	1.81	0.00	1.81	0.00
すいか	6.21	0.00	8.38	0.00	8.38	0.00
ピーマン	1.00	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00
ネギ	3.92	0.00	4.51	0.00	4.51	0.00
馬鈴薯	0.87	0.00	0.82	0.00	0.82	0.00
ナス	3.49	0.00	3.19	0.00	3.19	0.00
未成熟そらまめ	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
スナップえんどう	0.62	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00
セリ	0.78	0.00	1.27	0.00	1.27	0.00
さやえんどう	0.53	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00
ホウレン草	0.65	0.00	0.76	0.00	0.76	0.00
トマト（ミニトマトを除く）	0.64	0.00	0.92	0.00	0.92	0.00
枝豆	12.43	0.00	12.82	0.00	12.82	0.00
メロン	2.04	0.00	2.49	0.00	2.49	0.00
きゅうり	1.00	0.00	1.21	0.00	1.21	0.00
大根	0.27	0.00	0.43	0.00	0.43	0.00
山の芋	0.23	0.00	0.47	0.00	0.47	0.00
スイートコーン	1.27	0.00	1.81	0.00	1.81	0.00
ブロッコリー	1.23	0.00	0.88	0.00	0.88	0.00
白菜	0.67	0.00	1.09	0.00	1.09	0.00
ふき	10.84	0.00	9.82	0.00	9.82	0.00
にんじん	0.07	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
ミョウガ	0.90	0.00	0.49	0.00	0.49	0.00

作物等		前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
			うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
	ニラ	0.03	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00
	モロヘイヤ	0.08	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00
	サトイモ	0.36	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
	菌床しいたけ	0.14	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
	タラの芽	6.16	0.00	5.24	0.00	5.24	0.00
	玉ねぎ	3.72	0.00	6.80	0.00	6.80	0.00
	さつまいも	2.70	0.00	3.94	0.00	3.94	0.00
	にんにく	0.39	0.00	0.66	0.00	0.66	0.00
	きくいも	0.68	0.00	0.87	0.00	0.87	0.00
	ゆうがお	0.24	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00
	オクラ	0.78	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
	レタス	0.05	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
	いちご	0.13	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00
	しそ	0.00	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
	ぜんまい	0.00	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
	わらび	1.72	0.00	1.18	0.00	1.18	0.00
	ウド	0.39	0.00	0.41	0.00	0.41	0.00
	マコモダケ	0.51	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00
	原木しいたけ	0.66	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
	・花き、花木	29.94	0.00	38.33	0.00	38.33	0.00
	リンドウ	21.04	0.00	25.97	0.00	25.97	0.00
	小菊	6.69	0.00	9.91	0.00	9.91	0.00
	輪菊	0.07	0.00	0.13	0.00	0.13	0.00
	菊類(小菊・輪菊を除く)	0.23	0.00	0.47	0.00	0.47	0.00
	トルコギキョウ	0.88	0.00	1.08	0.00	1.08	0.00
	バラ	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00
	アスター	0.22	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
	ダリア	0.38	0.00	0.31	0.00	0.31	0.00
	花ハス	0.10	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
	・果樹	1.12	0.00	3.97	0.00	3.97	0.00
	ぶどう（シャインマスカット）	0.45	0.00	2.87	0.00	2.87	0.00
	ブルーベリー	0.30	0.00	0.29	0.00	0.29	0.00
	りんご	0.28	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	ぶどう（シャインマスカットを除く）	0.04	0.00	0.46	0.00	0.46	0.00
	いちじく	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
	・その他の高収益作物	2.56	0.00	2.79	0.00	2.79	0.00
	葉たばこ	1.61	0.00	1.81	0.00	1.81	0.00
	小豆	0.95	0.00	0.94	0.00	0.94	0.00
	えごま	0.00	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
畑地化		0.00	0.00	18.08	0.00	18.08	0.00

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	重点振興作物　（基幹作物） 【地域の重点振興作物】アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊、ぶどう（シャインマスカット）	重点振興作物助成	作付面積	（令和7年度） 87 ha	（令和8年度） 102 ha
2	準重点振興作物　（基幹作物） 【地域の準重点振興作物】サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	準重点振興作物助成	作付面積	（令和7年度） 19 ha	（令和8年度） 24 ha
3	重点振興作物、準重点振興作物　（基幹作物） 【地域の重点振興作物】アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊 【地域の準重点振興作物】サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	野菜・花き団地化加算助成	作付面積	（令和7年度） 106 ha	（令和8年度） 137 ha
			取組面積	（令和7年度） 43 ha	（令和8年度） 58 ha
4	振興作物　（基幹作物） 【地域の振興作物】さやえんどう、ほうれん草、トマト（ミニトマトを除く）、えだまめ、メロン、きゅうり、大根、山の芋、スイートコーン、ブロッコリー、白菜、フキ、にんじん、みょうが、ニラ、モロヘイヤ、里芋、菊類(小菊・輪菊を除く）、トルコギキョウ、バラ、ブルーベリー、菌床しいたけ、タラの芽、葉たばこ、小豆、たまねぎ、さつまいも	振興作物助成	作付面積	（令和7年度） 50 ha	（令和8年度） 54 ha
5	その他振興作物　（基幹作物） 【地域のその他振興作物】にんにく、きくいも、ゆうがお、オクラ、レタス、いちご、しそ、ぜんまい、わらび、ウド、マコモダケ、原木しいたけ、アスター、ダリア、花ハス、りんご、ぶどう（シャインマスカットを除く）、いちじく、えごま	その他振興作物助成	作付面積	（令和7年度） 7 ha	（令和8年度） 8 ha
6	大豆　（基幹作物）	大豆湿害対策加算助成（300A技術）	作付面積	（令和7年度） 150 ha	（令和8年度） 181 ha
			取組面積	（令和7年度） 59 ha	（令和8年度） 84 ha
			10a当たり収穫量	（令和7年度） 46kg/10a	（令和8年度） 110 kg/10a
7	大豆　（基幹作物）	大豆除草・湿害対策加算助成（明渠等）	作付面積	（令和7年度） 150 ha	（令和8年度） 181 ha
			取組面積	（令和7年度） 98 ha	（令和8年度） 127 ha
			10a当たり収穫量	（令和7年度） 46kg/10a	（令和8年度） 110 kg/10a
8	大豆　（基幹作物）	大豆団地化加算助成	作付面積	（令和7年度） 150 ha	（令和8年度） 181 ha
			取組面積	（令和7年度） 128 ha	（令和8年度） 145 ha
			10a当たり収穫量	（令和7年度） 46kg/10a	（令和8年度） 110 kg/10a
9	そば（基幹作物）	そば集積湿害対策加算助成	作付面積	（令和7年度） 579 ha	（令和8年度） 520 ha
			取組面積	（令和7年度） 458 ha	（令和8年度） 416 ha
			10a当たり収穫量	（令和7年度） 21kg/10a	（令和8年度） 57 kg/10a
10	そば（基幹作物）	そば団地化加算助成	作付面積	（令和7年度） 579 ha	（令和8年度） 520 ha
			取組面積	（令和7年度） 257 ha	（令和8年度） 260 ha
			10a当たり収穫量	（令和7年度） 21kg/10a	（令和8年度） 57 kg/10a

整理番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
11	飼料用米（基幹作物）	飼料用米の生産性向上取組助成	作付面積	（令和7年度） 74 ha	（令和8年度） 207 ha
			取組面積	（令和7年度） 26 ha	（令和8年度） 145 ha
			10a当たり収穫量	（令和7年度） 618kg/10a	（令和8年度） 635 kg/10a
12	飼料用米（基幹作物）	飼料用米の作業効率化助成	作付面積	（令和7年度） 74 ha	（令和8年度） 207 ha
			取組面積	（令和7年度） 59 ha	（令和8年度） 165 ha
			コスト削減額	（令和7年度） 4,621千円 7,222円/10a	（令和8年度） 11,916千円 7,222円/10a
13	飼料作物　（基幹作物） 【飼料作物】青刈りとうもろこし、青刈り麦（ライ麦又はエン麦を含む）、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	飼料作物団地化加算助成	作付面積	（令和7年度） 251 ha	（令和8年度） 293 ha
			取組面積	（令和7年度） 65 ha	（令和8年度） 91 ha
			10a当たり収穫量	（令和7年度） 862 kg	（令和8年度） 935 kg
14	飼料作物　（基幹作物） 【飼料作物】 青刈りとうもろこし、青刈り麦（ライ麦又はエン麦を含む）、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	飼料作物作業集積助成	作付面積	（令和7年度） 251 ha	（令和8年度） 293 ha
			取組面積	（令和7年度） 108 ha	（令和8年度） 131 ha
15	飼料用米　（基幹作物） （飼料用米生産ほ場の稲わら）	耕畜連携助成（わら利用）	作付面積	（令和7年度） 74 ha	（令和8年度） 207 ha
			取組面積	（令和7年度） 0.7 ha	（令和8年度） 14 ha
16	粗飼料作物等　（基幹作物） （粗飼料作物等の範囲は別紙５に定めた作物とする。）	耕畜連携助成（資源循環）	作付面積	（令和7年度） 369 ha	（令和8年度） 436 ha
			取組面積	（令和7年度） 14 ha	（令和8年度） 29 ha
17	そば、なたね　（基幹作物）	そば・なたね振興助成（国枠）	作付面積 そば面積 なたね面積	（令和7年度） 579 ha 579 ha 0 ha	（令和8年度） 522 ha 520 ha 2 ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：秋田県

協議会名：由利本荘市地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価（円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	重点振興作物助成（露地）	1	43,000	アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊、ぶどう（シャインマスカット）	実需者等と契約を締結し、出荷販売
	重点振興作物助成（施設）	1	69,000		
2	準重点振興作物助成（露地）	1	34,000	サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	実需者等と契約を締結し、出荷販売
	準重点振興作物助成（施設）	1	52,000		
3	野菜・花き団地化加算助成	1	8,000	アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊 サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	実需者等と契約を締結し、出荷販売
4	振興作物助成（露地）	1	14,000	さやえんどう、ほうれん草、トマト（ミニトマトを除く）、えだまめ、メロン、きゅうり、大根、山の芋、スイートコーン、ブロッコリー、白菜、フキ、にんじん、みょうが、ニラ、モロヘイヤ、里芋、菊類(小菊・輪菊を除く)、トルコギキョウ、バラ、ブルーベリー、菌床しいたけ、タラの芽、葉たばこ、小豆、たまねぎ、さつまいも	実需者等と契約を締結し、出荷販売
	振興作物助成（施設）	1	16,000		
5	その他振興作物助成	1	5,000	にんにく、きくいも、ゆうがお、オクラ、レタス、いちご、しそ、ぜんまい、わらび、ウド、マコモダケ、原木しいたけ、アスター、ダリア、花ハス、りんご、ぶどう（シャインマスカットを除く）、いちじく、えごま	実需者等と契約を締結し、出荷販売
6	大豆湿害対策加算助成（300A技術）	1	4,000	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
7	大豆除草・湿害対策加算助成（明渠等）	1	8,000	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
8	大豆団地化加算助成（50a）	1	2,000	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
8	大豆団地化加算助成（1ha）	1	5,000	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
8	大豆団地化加算助成（3ha）	1	17,000	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
9	そば集積湿害対策加算助成	1	17,000	そば	実需者等と契約を締結し、出荷販売
10	そば団地化加算助成	1	4,000	そば	実需者等と契約を締結し、出荷販売
11	飼料用米の生産性向上取組助成	1	4,000	飼料用米	実需者等と契約を締結し、出荷販売
12	飼料用米の作業効率化助成	1	4,000	飼料用米	実需者等と契約を締結し、出荷販売
13	飼料作物団地化加算助成	1	4,000	青刈りとうもろこし、青刈り麦（ライ麦又はエン麦を含む）、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	1ha以上の団地形成
14	飼料作物作業集積助成	1	5,000	青刈りとうもろこし、青刈り麦（ライ麦又はエン麦を含む）、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	3ha以上の作業集積
15	耕畜連携助成（わら利用）	3	11,000	飼料用米	飼料用米生産ほ場の稲わらを出荷
16	耕畜連携助成（資源循環）	3	11,000	飼料用青刈り稲、WCS用稲、オーチャードグラス、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、チモシー	堆肥の散布量が10a当たり2tまたは4㎥以上
17	そば・なたね振興助成（国枠）	1	20,000	そば・なたね	実需者等と契約を締結し、出荷販売

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙5

粗飼料作物等の範囲

飼料用青刈り稲 WCS用稲 オーチャードグラス イタリアンライグラス リードカナリーグラス チモシー

（注） 上記の粗飼料用作物等については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される　牛に供される場合に限ります。